

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 淡路島アートセンター	代表者名	井壺 幸徳
事業名	五斗長ウォーキングミュージアム事業／子ども参加プロジェクト		

事業実施実績

年 月 日	活 動 内 容
2014年4月後半 ～7月	初期ミーティング、全体事業計画の確認、ウォーキングミュージアムの遠足コースの視察、設定。協力要請する関係機関との調整開始。地域内外にステンシルの一般公募開始の準備を行なう。
2014年8～9月, 10月～	9月の台風により GWM へ上がる道路が自然被害に遭う。修繕が今年度難しい事が判明し、GWM の森を歩く WS の内容を変更することとなる。アーティストと協議、WS 内容変更依頼。アーティストより新たに WS 内容提案→企画確定。WS 開催場所の調査、準備、広報開始
2014年12月～ 2015年2月	五斗長地域の70代、80代の方から地元の小さな伝統行事などについてヒアリングを行なった。
2014年11月23日 2015年1月18日	子ども WS 実施。子ども WS で出来上がった作品を、ひとつの大きな作品にするための製作作業。地元の伝統行事などヒアリングのまとめ作業、お披露目会の広報活動
2015年3月	五斗長ウォーキングミュージアム 2014 作品お披露目会実施

効果と成果

子どもたちによる五斗長垣内遺跡内の作品展示により、住民との距離が更に近づき、作品に対する感心も高まっている。またそれらを通して地域が誇れる「既存資源」に対する理解が進んで来た。新たな地域資源のひとつ、遺跡をPRするための拠点施設が本年度完成し、地域女性部によるカフェの運営が開始され一般の来場者も徐々に増加しつつあるが、施設内に作品を展示することで、アートを鑑賞しながらの喫茶、及びその背景にある子どもたちとの活動等が話題を提供するなど、地域内外の人々の集いの場と交流の場としてのカフェ運営に貢献している。教育的観点が主体の施設に、文化芸術的視点も持込むことで、幅広い理解と楽しみを提供出来るよう今後も協働を続けたい。

3年の間に、住民らや関係機関の理解と協働も深まりつつあり、良好な関係の構築が進んでいる。参加する作家の積極的な住民らとの関わりもあり、次年度はかつて地域で行われていた祭事の復活を望む声が住民側から上げられた。また、教育委員会からは「古道」活用に関して協働の声がかかり、緩やかに各者との連携を進めている。一点、地形的に災害の多い場所であるが故の難しさを今後どう克服して行くかが課題となっている。

収支決算書

(収入)

項 目	金額(円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
自己資金	333,173
合 計	833,173

(支出)

区分	項 目	金額(円)	左のうち助成対象金額(円)
直接経費	制作費	187,400	127,793
	備品費	53,784	10,757
	旅費交通費	123,400	138,995
	謝金	60,000	60,000
	印刷製本費	30,000	20,000
	賃借料	25,000	15,000
	小 計	479,584	372,545
間接経費(一般管理費)		353,589	127,455
合 計		833,173	500,000